PressRelease

報道関係各位

2026 年 11 月 25 日

株式会社ベルシステム 24 ホールディングス

ベルシステム24、公共領域でBPO事業を展開する富士ソフトサービスビューロの完全子会社化へ向け基本合意

～公共領域の事業基盤を強化し、AI活用によるBPOの高度化を加速～

株式会社ベルシステム 24 ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：梶原 浩、以下：当社）は、2026 年 11 月 25 日開催の取締役会において、富士ソフトサービスビューロ株式会社（以下：富士ソフトサービスビューロ）の完全子会社化に向け、基本合意書を締結することを決議しましたので、お知らせします。

当社は「中期経営計画 2028」において、事業領域の拡大を成長戦略の一つに掲げ、既存のコンタクトセンター・BPO 事業で培った人材、拠点、業務運営ノウハウなどの事業基盤を活用するとともに、M&A やアライアンス、AI を活用した高度化を通じた事業の拡大・強化を進めています。

富士ソフトサービスビューロは、長年にわたりコンタクトセンター・BPO 事業を展開し、特に官公庁・自治体・公的機関を中心とする公共領域において、幅広い顧客基盤と業務運営実績を有しています。

当社は、富士ソフトサービスビューロが有する公共領域を中心とした顧客基盤や業務運営ノウハウと、当社が有するコンタクトセンター・BPO の運営力、AI 活用ノウハウ、人材・拠点などの事業基盤を掛け合わせることで、人手不足を背景に業務効率化や AI・デジタル技術の活用が求められる公共領域における事業の拡大・強化、両社の顧客基盤を活用した新たな事業機会の創出を図ることができると判断し、本取引に至りました。

また現在、富士ソフトサービスビューロの議決権の 100%を保有する富士ソフト株式会社（以下：富士ソフト）とは、本取引後も当社および富士ソフトサービスビューロを含む 3 社で業務提携を行う予定です。

富士ソフトが有する AI などの先進技術や、システム開発・インテグレーション（SI）をはじめとする IT・システム領域の知見、富士ソフトサービスビューロが有する官公庁・自治体領域における強み、そして当社が有するコンタクトセンター・BPO の運営力やデジタルソリューションなど、3 社それぞれの強みを掛け合わせ、SI と BPO を組み合わせた新たな事業機会の創出に取り組みます。

■富士ソフトサービスビューロについて

会社名	富士ソフトサービスビューロ株式会社
所在地	東京都墨田区江東橋二丁目 19 番 7 号
代表者	代表取締役社長　佐藤 諭

設立	1984 年 10 月 1 日
事業内容	コンタクトセンターサービス、BPO サービスなど
URL	https://www.fsisb.co.jp/

※本取引の詳細については、本日公表の適時開示「富士ソフトサービスビューロ株式会社の第三者割当増資引受け及び完全子会社化に関するお知らせ」をご参照ください。
当社 IR ニュース：https://www.bell24.co.jp/ja/ir/news/

ベルシステム 24 について　企業 URL：https://www.bell24.co.jp/

株式会社ベルシステム 24 は、1982 年に日本初の本格的コールセンターサービス開始以来、様々な企業の消費者との接点を担うコミュニケーション基盤を構築し、コンタクトセンターを中核とした BPO 事業で業界スタンダードモデルを確立してきました。現在は、高度な人材力と最先端テクノロジーを融合し、「総合 BPO パートナー」として進化を続けています。顧客体験の革新からビジネスプロセスの最適化まで企業の DX を推進し、次世代の企業競争力を創出する戦略的パートナーとして、クライアント企業のビジネス進化を加速させます。

「イノベーションとコミュニケーションで社会の豊かさを支える」というパーパスのもと、社会のニーズに応える新たなソリューションを創出し、持続可能な社会の実現に貢献します。

本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ
株式会社ベルシステム 24 ホールディングス　広報室
E-mail：pr@bell24.co.jp / TEL：03-6896-6199